

令和5事業年度決算の概要

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構

Japan Expressway Holding and Debt Repayment Agency

トピックス ～損益の状況～

1. 経常収益 1兆9,825億円 (前年比+422億円)

- 各高速道路会社の交通量が昨年度に比べ増加となり、料金収入が増加しました。
- そのため各高速道路会社からの道路資産貸付料収入は、1兆9,501億円（前年比+425億円）となりました。

2. 経常費用 1兆4,300億円 (前年比▲102億円)

- 道路資産貸付業務費は、資産の減価償却費の増加等により、1兆1,487億円（前年比+105億円）となりました。
- 財務費用は、支払利息の減により、2,331億円（前年比▲85億円）となりました。

3. 経常利益 5,524億円 (前年比+524億円)

- 道路資産貸付料収入の増加等により経常利益は増加しました。

トピックス ～資産・負債の状況～

4. 資産総額 41兆6,518億円 (前年比▲3,549億円)

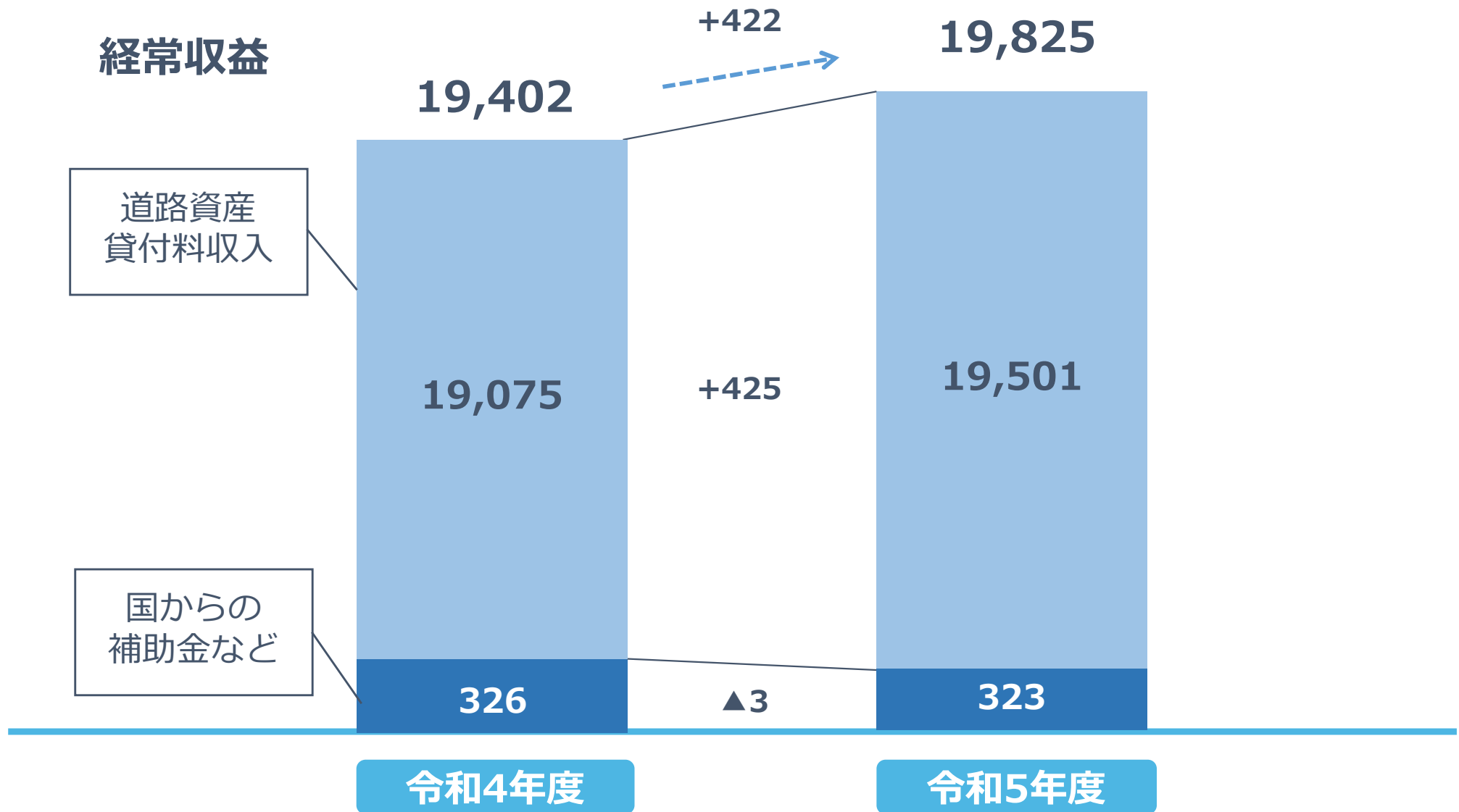
- 流動資産は、有価証券の償還による減少等により、7,234億円（前年比▲186億円）となりました。
- 固定資産は、一般国道478号京都縦貫自動車道（宮津天橋立～丹波）の移管による資産帰属の増加等を、減価償却による減少等が上回ったため40兆9,284億円（前年比▲3,362億円）となりました。

5. 負債総額 26兆2,680億円 (前年比▲9,384億円)

- 負債は、各高速道路会社からの債務引受による増加等を、機構債及び長期借入金の償還等が上回ったため減少しました。
- これらを踏まえた上で、債務の確実な返済を確認しています。

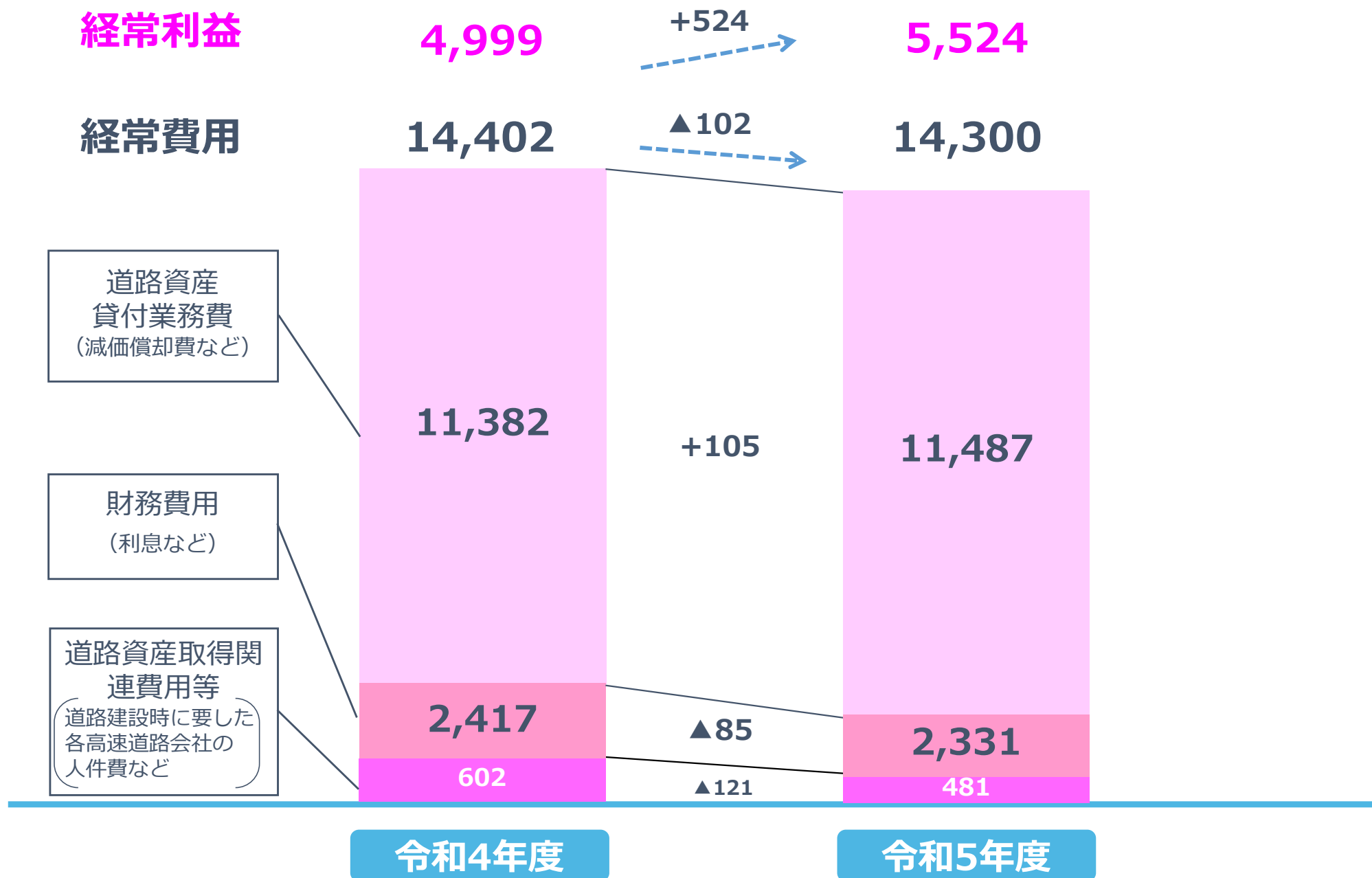
経常収益の前年比較

(単位：億円)



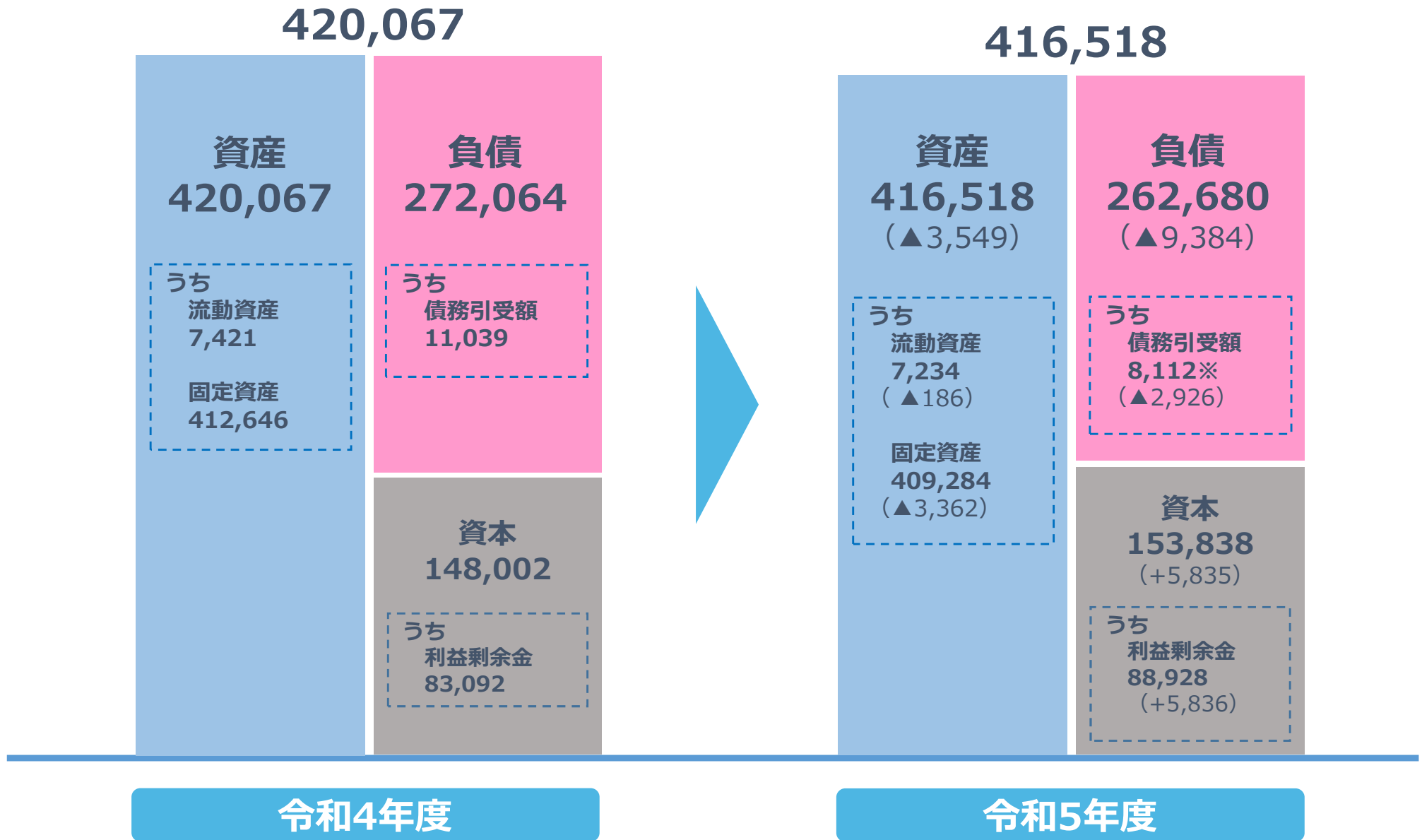
経常利益と経常費用の前年比較

(単位：億円)



貸借対照表の前年比較

(単位：億円)



※金額は、法人単位財務諸表（PDF）の
長期借入金及び機構債の明細（18ページ目）に掲載しています。